

■■■ ふたば国際プラザ開設 ■■■

6月1日、KFCが管理運営を受託することになった「ふたば国際プラザ」の開設式典が行われました。

「ふたば国際プラザ」は、今年度から神戸市が設置し、公益財団法人神戸国際協力交流センターが開設した施設で「多文化共生社会の実現のため、国籍や年齢などの区別なく、市民が集い利用することのできる拠点施設として設置」された施設です。

3月に実施された施設管理運営団体募集にKFCが応募し、KFCの実績と提案が認められ運営受託法人として選ばれました。これも多くのKFC支援者に支えられた活動があったからだと考えます。ありがとうございました。

ふたば国際プラザでは、委託事業として在日外国人支援としての外国人住民生活ガイダンス事業や日本人と外国人との交流事業、日本語ボランティアなどの人材育成事業、留学生を活用した児童館での国際理解教育事業などを実施する予定です。

またふたば国際プラザを活用したKFCの自主事業として、日本語支援、第三国定住ミャンマー難民の支援、中国残留邦人帰国者支援事業なども行う予定です。

開設式には、久元神戸市長、北山神戸市議会議長をはじめ多くの来賓が出席し、新たな施設である「ふたば国際プラザ」のお披露目が盛大に行われました。多くの方々にお祝いや期待の言葉をもらい改めて施設運営者としての責任と自覚を感じた次第です。

すでに多くの人も見えていただいたかもしれませんが、当日の様子は、NHK、神戸新聞、朝日新聞でも取り上げてもらいました。

神戸市長田区という古くから外国人と日本人が共に暮らしてきた地域の中心にあるふたば学舎（旧二葉小学校）の一角にできたふたば国際プラザが、「共生」の光を灯し地域を照らせる場となるよう力を尽くしていきたいと考えています。（理事長 金 宣 吉）

◆2019年度総会報告

5月25日、KFCの2019年度総会と総会に先立ち学習会「ミャンマーの人と文化（講師・山本文子さん：国立民族学博物館外来研究員）」を開催しました。

学習会は、別稿で取り上げていますので、総会について概略のみ報告させていただきます。

2018年度事業の新たな事業としては、高齢者支援の新たな取り組みとして要介護利用者の福祉運送とコンプライアンス確保のために事業収支として厳しい事業ですが、福祉有償運送事業開設を申請、認可を受け開始しました。

また日本政府が、第三国定住ミャンマー難民の定住予定地として神戸が選ばれたことに伴い年度後半からは、地域定住支援員業務の取り組みを始めています。

子ども支援においても新たな取り組みとして「夏休みわいわい英語教室&夏休み読書会」「普通免許試験対策講座」の新規開催など子どもや青年の要望にそった事業を進めました。

KFCは、上記のような単に事業を拡大推進するだけでなく不平等な社会の解消に向けての活動も行いました。公益財団法人損保ジャパン日本興亜財団が設けている「介護福祉士養成の奨学金給付制度」において、日本国籍に限るという国籍要件があることを知り、そのような制度は、論拠のない不平等であることから改善要望を行い国籍要件の撤廃をかちとりました。

KFCの2018年度は、介護部門の年度後半の利用者減少による大幅な収入減など厳しいこともあり法人として試練の多い年でもありましたが、今後の成長や安定のための準備や新たな事

業チャレンジの機会を得た年でもありました。

事業報告の詳細や会計収支などは、HPに掲載予定です。

2019年度は、あらたに日本政府が法整備を実施し、従前国の方針として認めていなかった外国人労働者の大量導入を図るという大きな変化の年になります。

日本社会が抱える少子高齢化問題により今後一層深刻化する就労人口の減少、人手不足に対して外国人の力が必要という判断は、必然のこととも考えられますが、その内容に関しては、要約すると外国人労働者は日本が必要とする数だけ、必要な時期だけ、社会的負担のかかる子どもや高齢の家族は連れてくるな、また雇用主や働く仕事を変えることはほぼできない非常に残酷な受入制度となっています。

この外国人労働者の導入は、私たちKFCにも大きな影響を及ぼすと思われます。

非常に難しい課題となりますが、人道上の支援が必要な介入のほかは、外国人労働者の活用によって利益をあげる機関や責任母体が責任を果たすことを一義的に促し薦めたいと考えます。

制度の根幹に横たわる人材活用という名の裏にある種の「人身売買」の横行や人権侵害に対して毅然とした姿勢で臨むことが、問題の所在を明らかにすることに繋がり、制度の改正に向かうと考えられるからです。

もう一つの課題は、今までも繰り返されてきた新たな「ニューカマー」と言われる外国人の増加によって、地域に定住する外国人の実態、世代を重ね地域で暮らす外国人・移民の理解がより後退し関心が薄れることの影響です。

KFCに取材に来るメディアからは、在日コリアン、インドシナ難民2世や中国残留邦人帰国者3世といった「外国人」としての「顔」が見えにくい人たちに関する質問は、いつもほぼありません。関心の中心は、言葉ができない外国人、文化の違いの大きい外国人といった渡日1世代に偏っています。

「外国人」という言葉が表す対象は、いままでも本来定義される国籍によるカテゴリーとは異なる理解がなされ、時代や分類する側の思想や主張によって恣意的に拡大させられたり矮小化させられたりしてきました。

その都度、対象とされる外国人は、関心に沿うよう自らを合わせるか、関心の枠外で生きるかということになっています。KFCは、そんな「外国人」をめぐる社会状況に対して、疑問を投げかけ、一石を投じる事業を続けてきました。大きな社会の変化のなかでとすれば埋没しがちな見えにくい外国人と呼ばれる人たちの現実にも目が向けられる仕組みを作りたいと考えます。

新たな取り組みとしては、3月に神戸に移住したミャンマー第三国定住難民5家族、22人の家族支援に本格的に取り組むことになりました。

また神戸市が、在住外国人と日本人住民が支えあい共生するための施設として設置した「ふたば国際プラザ」の運営を受託しました。地域の諸団体とともに発展させていきたいと考えます。そのほかにも明舞団地において実施してきた中国残留邦人帰国者交流会を明石市からの委託事業として再編し、神戸市と明石市という2自治体と中国残留邦人帰国者支援事業を実施することも決まりました。

事業の範囲、規模、地域における拡大は、大きな負担も伴いますが、未来を広げる可能性でもあります。信頼を関係者と結びながら実績につなげられればと考えます。

上記の事業の新設に伴い、スタッフの採用や役職部署の移動、ボランティア、外部協力者の拡大、地域団体や新たな行政機関・部署との連携が求められます。理事会、職員、会員とともに成果が得られるよう協働できる関係づくりに努め、実り多い年にしたいと考えます。

新たな事業の立ち上げは重要なことですが、一方で既存の事業の発展、進化も非常に重要になっています。昨年度後半に大きく失速した小規模多機能型居宅介護八ナをはじめとする高齢者支

援事業をKFCの置かれている状況を的確に分析し、実態に即した改革や新規事業の企画も実施しながら発展、進化させたいと考えます。

そのためには、KFCの力の源泉である「人の輪の力」を再認識し、大学などとの連携・提携、外国人当事者コミュニティとの顔の見える関係づくり、近隣地域団体、教育機関、保育機関、公立図書館などとの協力を一層図りたいと思います。

言葉だけではなく多くの民族、多様な背景、さまざまな困難を抱える人を支える組織としてKFCが成長できるよう力をいただければと思います。

(理事長 金 宣 吉)

◆総会前の学習会「ミャンマーの人と文化」

わたしは大学2年時にゼミ活動の一環でKFCの外国にルーツを持つ子どもたちの学習支援をお手伝いしておりました。このたびは卒業論文「難民の現状について」を執筆中で、5月25日にKFCで行われた学習会「ミャンマーの人と文化」にKFCの皆様のご厚意で参加させて頂きました。貴重な勉強会に参加させて頂いたことをとても感謝しております。今後は、ミャンマー難民家族の方々の支援活動にも参加させて頂く予定です。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

今回の勉強会では、ミャンマーの歴史と一般家庭の様子を講師の山本文子先生の体験をもとにお話しして頂きました。ミャンマーという名前も昔は「ビルマ民の住む地域」という意味の文語（口語ではバマー）で使われていました。しかし、戦争や植民地からの独立を経て、外部が解釈を変え、100を超える少数民族を含む国全体を表すことばに受け取り方が変化しました。今ではビルマ族をメインにたくさんの少数民族がミャンマー各地に住んでおり、独自の文化やことばを使っているそうです。

わたしが一番印象に残ったことは、ミャンマーの人々の信仰心の強さでした。ミャンマーの主な宗教は仏教で、男性は一生に一度は出家し、中には何度も出家することがあるほどの熱心さです。また出家をする際に儀式として、得度式というものがあります。この得度式ではたくさんの人を招いて、出家する人がいる家庭が食事をふるまいます。家計の状況で得度式を開くことができない場合は、出家を延期することもあるくらい、得度式はミャンマーの仏教徒にとってはとても重要なものなのだと感じました。そして、仏教信仰と並行し、精霊信仰も盛んです。精霊信仰は仏教が広まる前からあった土着信仰です。マハギリ・ナツという精霊はもともと鍛冶職人で、火あぶりの刑に処されたため、涼しく冷たいココナツの実に宿るとされています。マハギリ・ナツは家を災難から守ってくれると考えられており、このココナツの実は仏教徒の家庭にも祀られています。ココナツの実自体にも装飾され、たくさんのお供え物も周りに置かれるそうです。

山本先生が訪問した家庭は、比較的裕福な家庭で、親戚の女の子が住み込みでお手伝いをしている環境でした。この女の子は学校に行かずに、毎日お手伝いしている家の人と一緒に市場へ行き買い物をしたり、同じくらいの年齢の子どもたちの学校への送迎やお世話をしたりしていたそうです。

この勉強会を通して、ミャンマーという国はとても個性的で様々な背景があることを学びました。国の成り立ちや、一部ではありますが普段の生活まで知ることができて良かったです。これからは神戸に暮らしているミャンマー難民家族の皆さんが安心して過ごすことができるための支援や学習指導に微力ではありますが、お力になればと思います。よろしくお願い致します。

(甲南女子大学文学部4年 熊野 真子)

■■■KFC日本語プロジェクト■■■

◆開設曜日・時間変更のお知らせ

ふたば国際プラザの開設に伴い、KFC日本語プロジェクトの教室は、6月からプラザの方へ移転いたしました。開設曜日と時間も変更になりました。一週間のクラススケジュールは以下の表のとおりです。

クラス名 時間

- ① 水曜日AMクラス 10:15-12:15
- ② 木曜日AMクラス 10:15-12:15
- ③ 日曜日AMクラス 10:15-12:15
- ④ 木曜日夜クラス 18:15-20:15
- ⑤ 土曜日夜クラス 18:15-20:15

場所は広くきれいになりましたが、新長田駅から来られている方にとっては遠くなりました。今まで火曜日のクラスもありましたが、プラザの開設時間、他の事業開催の関係上、6月で閉鎖になりました。新たに木曜日と土曜日の夜クラスが開設されます。

日曜日と夜のクラスに関しては、シューズプラザ4階の会議室の使用中止が昨年末に言われてから、この6か月間デイサービスハナの会などの利用、開催曜日の変更等、落ち着いた時期でした。

教室コーディネーター、ボランティア、学習者の方々の理解とご協力のおかげさまで、大きな混乱なく無事に移転が進みました。これからもさらなる日本語学習の充実と新しい場所を活かした活動の多様化を目指して力を合わせていきたいです。

(奥 優伽子)

■■■KFC外国にルーツを持つ子どもの学習支援■■■

◆子どもの支援雑感

4月に新1年生になる学校の持ち物の用意を手伝ったときに、あまりの準備物の多さと細かさになんげんなりしました。

例えば、お道具箱に揃えるものとして、クレパス（クレヨンじゃだめだそうです）、名前ペン、フェルトペン、筆箱には2B鉛筆4本に、赤鉛筆、算数セットにはおはじきなど細かいもの一つ一つに名前を貼る、音楽や図工の準備物を入れる床につかない長さの袋、無地の下敷き、ランチョンマットやマスクを入れた給食セット、等々です。

ママさんたち（パパさんたちも関与していることを祈りつつ、）の大変さを感じました。特に日本語が十分に理解できない外国人ママが全部揃えるのは至難の業です。入学後になかなか準備物が揃えられない子どもたちがいるのを見るにつけ、希望者には全部セットで販売してくれたら、本人だけでなく先生たちも楽になるのに、と思いました。（業者との癒着、と言われるのでしていないようですが、なんとかならないものでしょうか。）

そういった中、とても工夫されている1年生の先生がいらっしゃいました。「明日、国語があるからその準備をしてきてね」と言っても何を持ってきたらいいかわからない子どもと保護者のために、各教科の教科書とノート、教材の写真を撮ってA4用紙にカラーで写真を貼りつけ、揃っていない教科の所にその上から付箋で矢印をつけてありました。日本語があまり理解できなくてもわかりやすくなっており、先生の工夫と丁寧さに感動しました。

最初のころは忘れ物を度々していた新一年生も、そういった先生の様々な工夫のおかげで、楽しく学校に通うことができます。（志岐 良子）

■■■ハナの会■■■

◆今年も 恒例のランチ遠足

好天に恵まれた5月21日(火)、5月22日(水)、5月30日(木)の3日間、デイサービスでは、ご利用者様のご希望の淡路へ、ランチ遠足に行きました。淡路へは、3年振りのランチ遠足です。車窓からの景色を、楽しみながら、明石海峡大橋を経て、淡路夢舞台に、向かいました。昼食の

海の幸に、舌鼓みをし、潮風を感じながら、百段苑を眺めた後、奇跡の星の植物館を、ゆっくり見学しました。バリアフリーの館内には、日頃、見かけない珍しい花々が多く、その美しさに見とれながらの記念撮影でした。

30日(木)は、昼食施設の定休日と重なった為、国営明石海峡公園に行きました。こちらでは、広々とした公園内を、園内バスも利用して見学し、色鮮やかに咲き誇った花々や、巨大な立体花壇に迎えられ、散策を楽しみました。

3日間とも、各々が土産やソフトクリームを買い、道の駅でのたこの姿焼(たこを丸ごと圧縮焼にしたもの)を、みんなで食べたりと、外出先での、楽しい時間を、過ごしました。

帰りの車中では、「また、行きたいね」、「良かったわ」との、ご利用者様からの声も聞かれ、スタッフ一同も、共に楽しんだランチ遠足でした。次回もまた、お元気な笑顔溢れる外出を、したいものです。(後藤 なる美)

■■■ KFC中国帰国者支援事業 ■■■

◆神戸まつりの新星

2019年5月19日に開催された第49回神戸まつりのパレードの中で、私たちの出演は大変目立っていました。賑やかな中国東北のヤンゴ踊りが披露され、中国神話に出てくる孫悟空や猪八戒の姿もあり、また中国伝統の模型の船や、ロバ、花かごを担ぎながら踊る姿もありました。中国東北の華やかなヤンゴ踊りは響き渡る銅鑼の音とチャルメラの賑やかな演奏の中で行われ、とても賑やかな様子でした。多くの観客の拍手を得ることができ、これこそまさに神戸市定住外国人支援センターの中国帰国者新長田交流会、神戸ヤンゴ隊、神戸チャイナドレス隊だと、誇りを感じました。私たちが神戸まつり出演することによって、神戸まつりは国際色を増し、中国文化の宣伝にもなりました。私たちはまさしく、神戸まつりで輝く「新星」であったと思います。

当日、神戸定住外国人支援センターの理事長はスタッフたちを連れ、現場を指揮して頂きました。兵庫県残留孤児支援会、帰国者会、神戸中国帰国者日本語教育ボランティア協会など、先生達も続々と現場に来て頂き、また帰国者の家族も各地から大勢駆けつけてくれました。(私の娘と孫も大阪から見に来てくれました) こうした応援はとても励みになりましたし、本当に大盛況で合ったと思います。

しかし、嬉しさの一方では、心配ごともあります。それは、現在私達のヤンゴ隊に参加している帰国者の大多数が高齢化しており、体に不調が出ています。平均年齢は70歳前後です。ですから、私はヤンゴ隊に跡を継いでくれる人が現れ、ヤンゴ隊がこれからも神戸まつりを盛り立て、神戸市民に中国文化を伝えてほしいと願っています。これは、私たち帰国者全員の願いだと思います。(帰国者1世 治井 吉成)

■■■ グループホーム・小規模多機能型居宅介護八ナ ■■■

◆新開地劇場への遠足

2019年5月23日に遠足として、利用者様12名、スタッフ6名にて、新開地劇場へ演劇を見に行きました。

出発時、戸惑いや混乱などみられず、「楽しみやね」と言ってくださったので良かったです。劇場で昼食として、お弁当を提供させて頂きましたが、机など無かったので、大変食べにくかったかもしれませんが、こぼしたりすることなく召し上がられていました。

皆さん「美味しいわ」と大変喜んでくださったので、良かったです。

演劇が始まると、会場は少し薄暗くなりましたが、皆さん混乱することなく、楽しんで見られていました。

トイレへ行かれるのも、そんなに多くなく集中して見られていたと思います。

演劇中も、笑い声がたくさん聞こえてきたので、皆さん本当に楽しんでいたのだなと思いました。

時間の都合上、最後まで見ることは出来ませんでした。利用者様は、文句言われることなく帰

ることに協力してくれました。

帰りの車内では、各々「楽しかったね」や「また、行きたいね」などたくさんの感想を言ってくれました。

施設につくと、安心された表情を見せてくれました。

また、スタッフに「今日は、楽しいところに連れて行ってきて、ありがとう」とお礼を言ってくれた方もいました。

帰ってきて施設内でも、利用者様同士で「楽しかったな」などたくさんの感想を言ってくれました。

誰一人、迷子になることや、転倒や事故もなく、利用者様のたくさんの笑顔が見られ、施設へ無事に帰って来られたので良かったと思います。

今回の遠足も、利用者様にとって楽しい思い出の一つになればいいなと思いました。

次回の行事でも、スタッフ協力しあって、これからも利用者様にとって楽しい思い出が一つでも増えていき、笑顔がたくさん見られたらいいなと思います。

今回の遠足を企画してくれたスタッフ、また協力してくれたスタッフの皆さんお疲れ様でした。

ありがとうございました。

(グループホームハナ 木谷 総一郎)

■■■ 今後の予定 ■■■

- ◆ 今後の予定
- ふたば国際プラザ
7月19日(金)18:00-20:15
ヒューマンシネマ上映会「ドリーム」
7月27日(土)～9月1日(日)全7回
コミュニケーション重視の日本語ボランティア講座
- KFC帰国者新長田交流会
9月10日(火) 敬老会
- 遺品が語る沖縄戦
7月13日(土)～15日(月)
ふたば学舎1Fオープンスペース
- 「多文化共生」を考える研修会2019
第1回 8月21日(水)【総論】
国際健康開発センター3階会議室1
- 第2回 8月23日(金)
【外国にルーツを持つ子どもの教育】
海外移住と文化の交流センター5階ホール
- 第3回 8月28日(水)【移住する人々の状況】
国際健康開発センター3階会議室1
- 第4回 8月30日(金)
【入管難民法改正と外国人労働者】ふたば国際プラザ